



シルバー通信

第43号(平成25年度)

発行: 大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会

連絡先(理事長宅):

〒567-0832 茨木市白川3丁目2-2-901

FAX: 072-638-6546

ホームページ URL <http://sa-renkyo.sakura.ne.jp>

“就任1年にあたって”

「一緒に少しでも前進しましょう」

SA連協 理事長 松本 勉 (茨木 20期・福祉IT)



平素より大阪府SA連協の活動に対しご協力とご理解を頂き、有り難く厚くお礼申し上げます。

理事長職を拝命して1年になりますが、会員の皆さまのご期待に充分には応えられなかったこと、反省しております。

蛇行しながらも前進!

今年の干支の巳年は、景気の良い年だそうです。私も是非あやかりたいものと、年賀状には「蛇行しながらも前進!」と書きました。

振り返れば、執行部の人事も一部未決状態のままで年度のスタートを切りましたが、5月中には何とか体制を固めることが出来ました。7月には高大の同窓会一体化の提案に対し、各地区SAの皆さまの意見集約に3ヶ月の時間を掛けながらも「地区SAの独自性・独立性の尊重」を確認し、一体化会議に臨むことが出来ました。一体化会議については、現在も進行中ですが、「独自性・独立性の尊重」を貫き通すつもりです。

まさに、蛇行しながらの1年でした。

組織は生き物です!

大阪府SA連協は、11月には設立25年を迎えます。現在のSA連協の組織をとりまく環境は、残念ながら順風満帆といえる状態ではありません。高齢者で構成されている私たち自身のSA組織についても、少子高齢化の波が押し寄せてきております。新規入会者数の減少と、高齢化による日常の活動の停滞・減少です。組織は生き物ですから、このまま

では衰退の一途をたどることになります。前へ進むことを諦めて止まれば、倒れてしまいます。

一緒に考えて前進

組織を活性化し活動を少しでも前へ進めるためには、新規会員の入会が一番です。例えば、一般の方を対象とした手作りおもちゃボランティア養成講座(仮称)などを開催し、SA活動の賛同者を募ることも一つです。

また、多数の潜在活動要員である休眠会員の動員を呼び起こす工夫をすることも大切と考えております。組織の活動の輪の広がりという観点からは、10%の休眠会員の動員は10%の会員入会に等しい活動の広がりとなります。

組織を停滞させないために、是非会員の皆さまのご提言もお聞かせいただきたいと思っております。

私は今後についても、「皆さんと一緒に考えながら、少しでも前進する方向を見つきたい」と考えております。

今後の会員の皆さまのご健康とご多幸を祈念して、ご挨拶と致します。

事務局

この一年の連協の活動について

事務局長 小川 忠夫（吹田 18 期・世代）

事務局長の職務を担当し、早や一年この間の活動を振り返って見ました。活動面では歌体操フェスタを茨木市で開催できましたし、同時に歌体操中央研修会が軌道に乗り、充実した活動になりました。

おもちゃでは、科学実験教室という新しい分野に進出でき、和泉市で総合的な連協あげてのおもちゃフェスタを実施する事が出来ました。この裏では、支援活動部が二年目を迎えそれぞれの活動を支えたことも大きかったと思います。

今年の中で特筆すべきは、ホームページ部会と福祉 I T 部会の活動です。特にホームページ部会の活動は目を見張るほどの進展ぶりでした。福祉 I T はあまり表には出ない中で地域に密着した、授産所を舞台にした今までの連協にはなかった画期的な活動でありました。都市環境部会の活動は今後重要性が更に増してくる分野ですが地道な活動が展開されています。

今年のもう一つの側面は「高齢者大学校」や同窓会との関係で大揺れに揺れた一年であったと思います。高齢者大学校では従来からの S A 講座が消滅しました。一方新しくできた「北摂シニアカレッジ」が立ち上がり福祉の S A 講座が発足しました。次年度は今後の S A 連協のあり方、進むべき道を模索する重要な年になると思います。

S A 連協の活動は、広報とか渉外等の外部向けの活動が一つの鍵を握っているといえます。内部でいくら活動しても、それを外部に広報し、世間の認知を得る活動は非常に重要との意識のもとに活動すべきと思っています。

一年間の短い間でしたが、理事長のリーダーシップや各理事の活躍、地区 S A の活発な活動により充実した活動が出来たと思っています。ありがとうございました。以上

委員会活動報告

渉外委員会

この一年を振り返って

渉外委員長 笹原 義正（吹田高 1 期・世代）

S A 連協渉外委員の役務は当然のことながら外部諸団体と円滑な関係構築と情報交換により、地区 S A の発展に寄与することにあります。昨年一年間を振り返って報告します。

先ず、大阪府高齢者大学校の平成 23 年度 S A 養成講座修了生の S A 認定申請作業業務を行いました。これはスムーズに事は運び予定通り 9 月には申請者全員に大阪府から S A 認定書が発行されております。

次に大阪府高齢者大学校の「同窓会一体化協議」ですが、昨年の 7 月に始まり未だ継続審議中です。12 月にようやく O B 三団体（同窓会連協、フェスト会、S A 連協）の総称として「校友会」との命名までこぎつけたところですが、その運営や規約についてはこれからです。その前提として S A 連協の自主独立性を遵守することは高大を含めて了承されています。

最後になりますが、うれしいニュースもありました。大阪府北部コミュニティカレッジが平成 25 年 4 月より開校することです。同校には S A 養成講座があり 45 名の受講生が確定しております。このことは S A 会員の供給先が増えることを意味し歓迎すべきことです。同校 S A 養成講座発展の為には S A 連協は協力すべきであり、渉外委員としては気を引き締めてその大役を務めたいと思っています。

企画委員会**「企画」一年を振り返って**

企画委員長 中川 明子 (いずみ17期地域)

企画委員会は、歌体操部会と、おもちゃ部会で構成されているが、おもちゃ部会は、「いきいきエージング」コースと23年度に開設した「大阪ボランティア」コースの2部会があります。地区SA活動を支援していくために、常に年間の計画を確認しながら進めてきました。

歌体操部会・おもちゃ部会、の主な活動は、昨年に続きブロック交流会を実施して、研修会、勉強会を行うことにより、実技を通してお互い交流し合い学ぶ機会になりました。

交流会の活動費は助成金活用ではなくて、私たちの会費から活動費を支弁する事になりました。又、歌体操では、総仕上げとして「アクティブシニア歌体操フェスタ2013」の実施に向け進めています。

今年度の大きな取組みとして「子ども科学実験教室&おもちゃフェスティバル」を和泉市で実施することになり、企画委員会を中心に、大阪府シルバーアドバイザー地区会長・会員各位、和泉市教育委員会、和泉市小学校、の協力を得ながら実施に向けて進めています。

・活動費は、いずれも助成金の活用で実施します。(フェスティバルは冊子届く頃実施完了予定)
以上

広報委員会**広報を通じて、SAファンづくりを**

広報委員長 上山 乃婦子 (堺20期・世代)

目標：広報委員会は府SA連絡協議会と地区SA（シルバーアドバイザー・一般会員）の架け橋となり広報活動を通じ、魅力ある地区活動の知名度（認知度）の向上を、又、広報を通じてSAファン入会促進を行う。

主な活動は下記。

- ・ 対外活動は基本的にHPブログ・対内活動計画は、シルバー通信（広報誌）を年に1回の発行
- ・ 対外は高大同窓会共同機関誌「れいんぼー・絆」に寄稿する 4回（7月・10月・1月・4月）
- ・ 各部会＝広報誌・ホームページ・福祉IT・都市環境の年間スケジュール（計画）にたいする推進実績を共有する。
- ・ 各地区の活動実態アンケート実施。2012.8

24地区内22地区回収しました。ご協力ありがとうございました。

Q1. 月例会の有無 毎月 19 隔月 1 その他 2

Q2. 月例会の出席率は如何ですか 80%以上 8 60%以上 9 40%以上 3 20%以上 2

Q3. 連協HPの利用（アクセス数）は。

・40%以上 3 ・30%以上 2 ・20%以上 3 ・10%以上 4 ・その他 10

Q4. 地区の広報は 広報誌有 7 広報誌無 15 HP有 9 HP無 13

Q5. 地区活動 ・おもちゃ作り・歌体操・折り紙・ディスコン・マジック・喫茶給食・

・パソコン教室・健康体操・国際交流・バルーン・絵手紙教室・料理教室

・傾聴ボランティア・オカリナ演奏・太極拳教室・お手玉体操・げんき体操

・日本語教室・障害者自助具説明・子供科学教室

※地区のスキルアップ＝各地区に参考になればいいなとおもっています。

部会活動報告

歌体操部会

歌体操部会報告

歌体操部会長 藤川 安高 (吹田 19 期都市環境)

歌体操の実技を通して技術の向上を目指し各地区順番に実技の発表を行い学ぶことができた。(月 1 回開催)

・ブロック交流活動(北・中・南)の一環として研修会を実施して、ブロック内の交流を図り親睦を深める事が出来た。

また他のブロックを見学することにより地域を知ることにも出来た。

歌体操部会の主な活動

①歌体操部会

4月から、月 1 回開催し、部会員の情報交換・交流会・研修会を実施。

②地区別ブロック交流活動

・北ブロック 参加者 90 名

10月16日(火) 13時～15時 45分

豊中市千里文化センター

・南ブロック 参加者 70 名

10月26日(金) 12時30分～14時30分

羽曳野市福社会館

・中ブロック 参加者 約 35 名

11月27日(火) 13時30分～16時

大阪市豊崎東会館

③アクティブシニアフェスタ 2013

25年2月25日(月)

芸能交流会に揃いのユニホームで参加

吹田市メイシアター

④歌体操フェスタ 2013 実施予定

25年3月22日(金) 11時～15時30分

茨木市福祉文化会館 文化ホール

今後の課題 歌体操を地区地域に広めていくために、府 SA 連協の理事役員の協力



※ 全体のイベントとして、「アクティブシニア歌体操フェスタ 2013」を北ブロック SA 茨木で実施に向け取り組んでいます。(このイベントは助成金の活用で実施)

おもちゃ部会

平成24年度おもちゃ部会活動状況

おもちゃ部会長 藤井 貞幸 (19期 世代)

1) 各地区の活動

SA連協各地区(24地区)では、年間を通して、児童会館・保育所・幼稚園・小学校等で、独自の伝承おもちゃ作り教室を開催し、子供たち及びその保護者と多世代間交流(ボランティア活動)を行っています。

(詳細はSA連協ホームページから各24地区のブログにアクセスしてください。)

2) SA連協のおもちゃ作り教室(定期)

SA連協として、おもちゃづくりの情報交換やスキルアップを目的として、自前講師による順番制で定期的に勉強会を実施しています。

①従来教室

- ・奇数月の第3火曜日
- ・13:00~15:00
- ・大阪市立いきいきエイジングセンター

②初級クラス教室

- ・偶数月の第2火曜日
- ・13:30~15:00
- ・大阪ボランティア協会(H24/2月からは大阪NPOプラザ100号・福島区)



3) ブロック主催イベント

24地区を北/中/南の3ブロックに分け各ブロックが主催して、おもちゃ作りのイベントを実施しています。平成24年度の実績は以下のとおりです、

主催	内 容
北 吹田 SA	8月5日 夢つながり未来館 「夏休みおもちゃカーニバル」
中 SA 寝屋川	11月3日 府立寝屋川公園 「寝屋川公園フェスティバル」
南 いずみ SA	12月7日 和泉市人権文化 C 「おもちゃ交流会」



4) その他

- ①エコおもちゃづくり市民塾イン吹田
平成24年10月14日
- ②アクティブシニアフェスタで展示
平成25年2月25日 メイシアター
- ③おもちゃ2012フェスティバル
平成25年3月2日和泉市シティプラザ



ホームページ部会

ボランティア活動のポータルサイトを目指して

部会長 前田 正勝（大阪市 20 期福祉 IT）

“組織の紹介はホームページで、活動の紹介はブログで”という切り分けで、地区の

「活動ブログ」がスタートして2年が経過しました。現在 20 の地区で活動ブログが立ち上りタイムリーな活動報告をアップしていただいています。

そして、これにともない、SA連協のホームページも単なる“組織の紹介”にとどまらず、このページを経由して24地区のボランティア活動を紹介するという“ボランティア活動ポータルサイト”に変貌しつつあります。

現在のSA連協のホームページの構成をご紹介します（右図参照 構成は2月1日現在）

- ①は玄関口の表札です。
- ②にはSAの目的や4つの活動が書いてあります。
- ③はSAからのお知らせです。図の時点では、左が「会員募集」、中が「SA養成講座の受講生募集」、右が3月の予定の「子ども科学実験&おもちゃフェスティバル」のお知らせです。
- ④では地区の「活動ブログ」を紹介掲載しています。クリックすると各地区のブログへ展開します。
- ⑤がSA連協ホームページの核になる部分です。SAのメンバーが行っているいろいろなボランティア活動を、5つの切り口で見ることができます。
 - ・1番目は「SAニュース新着30」です。20地区の活動ブログを、府SA全体の中で新しいもの順に30記事を見ることができます。
 - ・2～4番目はボランティアの種目別です。「手作りおもちゃ」、「歌体操」、「その他の種目」について活動状況を検索できます。ここでの特徴は、SAとして活動している同期や仲間の会のブログも検索できることにあります（ただし、すべてが検索できるわけではありません）。
 - ・5番目は福祉IT部会の活動紹介です。



- ⑥は「協議会のページ」です。理事会や委員会・部会の議事録、シルバー通信のバックナンバーなどを見ることができます。
 - ⑦は24地区のホームページへのリンクです。地区の概要や年間計画などです。
 - ⑧にはSA養成講座を開講している2校の紹介をしています。
 - ⑨は新着情報です。
 - ⑩にはボランティア活動やSA連協に関連した組織のリンクを掲載しています。
- ※SA会員の方に気軽にそして頻繁に見て頂けるページであることが、ボランティアに携っている方や、目指している方に見て頂けることに繋がると、思っています。

福祉IT部会

福祉IT部会のボランティア活動

部会長 榎本龍彌（いけだ21期福祉IT）

福祉IT部会は、ボランティア活動としてホームページで大阪府内の授産施設（障がい者のための福祉作業所）の授産製品の紹介を無償でしています。そのために、私たち部会員15名、サポーター（SA連協外）4名は「福祉夢ひろば」のホームページ

<http://fukushi2yume.web.fc2.com>

を運営し、インターネット環境が備わった大阪市立総合生涯学習センターのネットワークラボで月1回の例会を持っています。

会員は近隣の授産施設を訪問して「福祉夢ひろば」への掲載を募り、ページを制作しています。その結果、「福祉夢ひろば」のホームページに掲載している授産施設は2013年1月末で25カ所、授産製品ショップは4店になりました。昨年末と比べ、この1年間で授産施設が5カ所、ショップが1店増えました。さらに、現在授産施設2カ所のページを作成中です。

ホームページへの掲載に加え、各種イベント

時にブースを確保し、授産製品の展示・即売を会員の手弁当で、無償で行っています。今年度は、2012年11月23日に大阪市立総合生涯学習センターで開催された「総合フェスタ2012」に7施設、11月24、25日にビッグアイ（堺市）で開催された「第35回障がい者作品展」に4施設が参加し、授産施設の職員と障がい者による製品の展示と販売、及び私たちによる展示と販売の代行を行いました。いずれもかなりの売上を達成し、施設の皆様に喜ばれました。2013年2月12、13日にメイシアター（吹田市）で開催される「高齢者大学同窓会第5回文化祭」、2月25日にメイシアターで開催される「アクティブシニアフェスタ2013」でも大々的に授産製品の展示・即売を行う予定です。

これからもさらに活動を広げ、大阪府内の全地区で部会員が活動し、地域の多数の授産施設が「福祉夢ひろば」に参加されることを願っています。



・掲載授産施設／ショップの所在地マップ



・総合フェスタ2012



・第35回障がい者作品展

都市環境部会

「都市環境部会(エコップ)報告

樋渡 照男 (高槻19期地活)

■24年度都市環境部会の活動報告をいたします。

① 「いきいきネット大阪」に会員登録

今期SA連協理事長の許可を経て登録しました。

- ・大阪府都市整備事業管理室。
(防災環境グループ事務所)
- ・大阪府下の美しい住みよい町作りを推進する個人、団体。支援は各地域の土木事務所と連携
- ・資料は防災環境グループ発行、「いきいき通信」土木事務所発行の各種冊子等参考に各事務所の職員のレクチャを受けてください。
- ・SA都市環境部(エコップ)でも、SA各地区より要望有れば現地に向かいます。



都市整備・ロゴマーク

② 服部緑地10月祭に参加



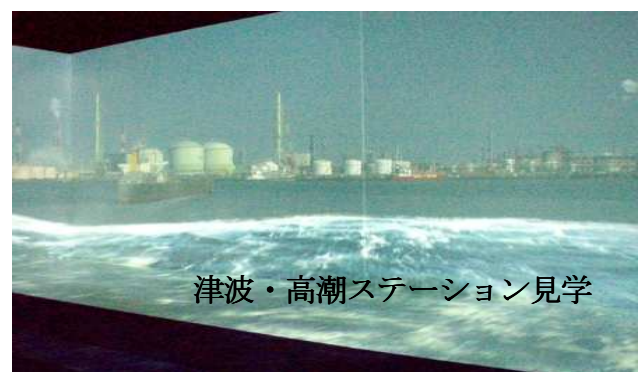
一昨年から参加している「服部緑地あすなろプロジェクト花端会議」年度初めから会議で参加決定、昨年春のグリーンフェスタやキャンドルナイト活動も盛んになり、企画内容検討過程で運営費、スタッフ数等、対応が難しい課題が見えて来ました。運営費＝スポンサーに阪神、北大阪電鉄、地元商店会各種に団体資金援助を仰ぐ。スタッフ不足＝各種ボランティアに要請有り我が部会「エコップ」にも4日間の参加要請有りました。

③ 津波・高潮ステーション「TUNAMI」の見学
第4回部会で施設訪問決定。

- ・平成23年3月11日の東日本大震災からマスコミにも取り上げられ、又関西でも南海沖地震がクローズアップ地震発生率の高さが報道・情報で多く聞かれる現在です。
- ・何時何が起きてもおかしくない状況、備えと予防の体制づくりは大変必要です。
(事前調査で有る程度の被害も把握出来ます)
- ・想定として大阪府の過去の被害実際を見て置くことはとても大事な事です。

・(大阪市西区江之子島2-1-64)

この施設を見学して、皆さんと過去の事例を共有でき、先人の残してくれた記録を語り継ぐ役目を新たにしました。



津波・高潮ステーション見学

広報誌部会

広報=HP、広報誌でファンづくりを

部会長 大川 正彦 (藤井寺 18 期・国際交流)

24 年度広報誌部会の計画提案は「広報で SA ファン創りを」をテーマに計画しました。

■広報委員会連携の中で下記スケジュール

広報活動は HP を中心としリアルタイムでの速報。その活性化の提案とし、地区活動実態調査で HP アクセスの実態調査を行う。

■地区の活動実態の調査アンケート項目は

- ① HP アクセス② 例会実態 ③地区活動実態 (ベスト 10) ④地区広報誌・HP 発行実態
- ・調査から広報のあり方研究

■NPO 高大「共同誌絆」への参画

昨年参画の拘れから新党擁立迄発展したので、理事長と連携、会計予算化、高大との窓口調整行い年間計画計上合意、年 4 回発行

■シルバー通信発行

年 1 回とし校正・印刷・配布・経費負担を軽減す期末 3 月に広報委員会・広報誌部会自前で PT を組み発行。

■目指す目標 (SA ファン創り)

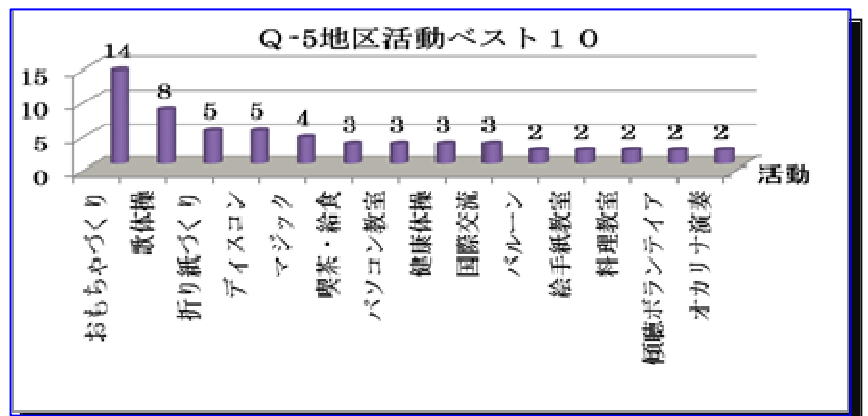
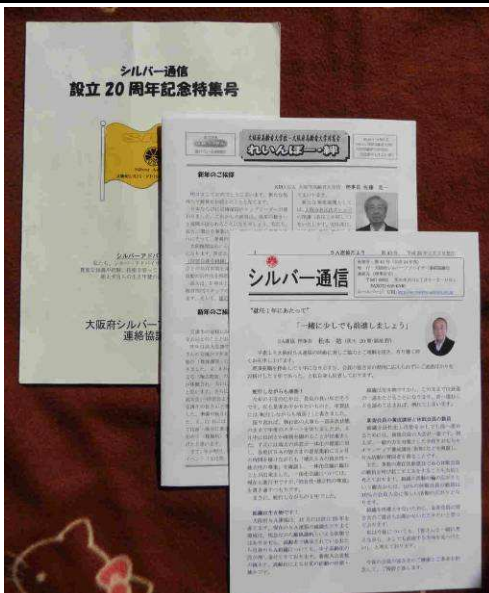
- ・HP の活性アクセス向上の連携、連協理事会でのプレゼン協力
- ・NPO 高大共同誌参画で全高大受講生へ活字で訴求、併せて HP の毎月更新のブログも訴求
- ・広報誌部会員減少の中、作業・会議は出来るだけ、ネットを利用する
- ・シルバー通信、自前発行は広報委員会の支援 PT で行う校正・印刷・配布・経費を軽減
- ・広報=福祉 IT の現地、現場イベントからの後方支援 (SA ファン創り)

タイムスケジュール

・共同誌「絆」年 4 回発行

・「シルバー通信」年 1 回発行

共同誌	NO-1 (7 月) 完了	NO-2 (10 月) 完了	NO-3 (1 月) 完了	NO-4 (4 月) 完了予定	シルバー通信 (3 月) 完了
案内日	24.5/10	24.8/2	24.11/1	25.2/7	25.1/10
北 B	SA 高槻	SA 吹田 SA いけだ	SA 茨木	SA とよなか	対象組織 ・各委員会 ・各部会 ・本部
中 B	SA 枚方	SA 寝屋川 SA 交野	SA 門真 SA 守口	SA 八尾 SA 大東	
南 B	堺 SA	SA いずみ SA 松原	SA はびきの SA 泉州南	SA 藤井寺 SA 河内長野	



支援活動部**地区支援活動**

支援活動部長 木場昭和子 (18期 健福)

支援活動部は、歌体操、おもちゃ作りの活性化を図るために、助成金を獲得する事が望まれている。24年度は、小川事務局長から指導をしていただき歌体操、おもちゃ共助成金を獲得することが出来た。これでアクティブシニア歌体操フェスタ2013の開催と、府連協全体で初めて取り組む「子ども科学実験教室&おもちゃフェスティバル」が開催できる。現在科学実験教室は、



(中央研修会風景)

定員70名に対して、180名の申込みあり、その対応に追われているが、うれしい限りである。おもちゃ作りも200名の参加が期待できる。(この冊子が皆様の手元に届く頃はフェスティバルは実施完了している)、支援活動部は、23年から歌体操中央研修会を毎月実施している。これまで歌体操をされている方も高齢化が進む中、次代のリーダーを育てようと思うので、各地区2名ずつ、選出して頂き開催した。

それを今年引き継いで実施しているが、出席者の、人数が減っていく為、昨年11月に、各地区2名と云う枠を取り外し、歌体操を勉強して、リーダーを目指したい方を、募集をしたところ10名の申込みがあった。今年は3か月に1回位、講師に来て頂き、明るく楽しい中央研修会にしたいと思っている。

ブロック活動報告**北ブロック**

ブロックこの一年を振り返って

北ブロック長 笹原 義正 (吹田高1期・世代)

昨年の北ブロック活動はふたつありました。ひとつは、8月5日(日)に吹田市の夢つながり未来館にて開催した『夏休み・おもちゃカーニバル』です。200名収容の大ホールにて心ふれあいSA吹田(以下SA吹田と云う)主催のイベントにSA連協北ブロックが参加の形で実現したものです。当方参加者はスタッフ11名、おもちゃ関係者28名、以上SA吹田、SA連協北ブロック関係者11名と総勢50名で臨み。お客様の子ども達は147名+同伴者が103名の総勢250名と盛大なビックイベントとなりました。(計300名)



もうひとつは、10月16日(火)豊中市千里文化センターで開催された『SA連協北ブロック歌体操交流会』です。これはSA連協北ブロック関係者総勢90名と沢山の参加者で、13時から16時まで十数曲と盛り沢山の歌体操で会場は大いに盛り上がりました。以上

中ブロック

中ブロック交流

中ブロックは、大阪市SA、SA守口、SA門真の会、SA寝屋川連絡会、SA交野、SA四条畷、SA大東の会、SA東大阪、SA八尾、SAひらかたの10地区と決められています。

H24年度の中ブロック活動状況は、

①おもちゃ活動で『寝屋川公園フェスティバル』に参加、



中ブロック長 福武 勝彦 (19期・世代)
②歌体操活動で『大阪市豊崎東会館での交流会』を開催、
③各地区レインボー・絆への順次投稿を行いました。
今期、残念だったのは、大阪市SAが、事情により積極的に参加頂けなかったことでしょう。
来期は、全グループ揃って運営できることを期待しています。



南ブロック

交流での地域コミュニティ

平成24年度SA連協ブロック交流会は、昨年度の反省から理事会終了後、隔月実施する事になりました。南ブロックでは課題研究とイベントを計画実施、主な活動は歌体操交流会、おもちゃ交流会を行いました。

歌体操交流会はSAはびきのが担当10月26日羽曳野市役所別館で実施し参加者70名。南各地区から参加し日頃の練習の成果を披露学ぶ機会になった、SAはびきのの会員、SA役員、

南ブロック長中川 明子 (いずみ17地福) 部会員、地域の方々の協力で無事終わる事が出来ました。

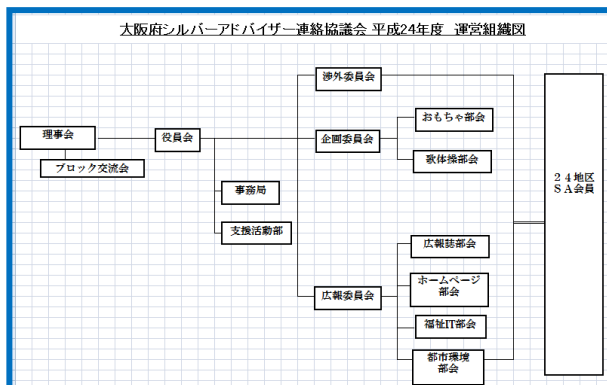
おもちゃ交流会はいずみSAが担当12月7日和泉市「ゆう、ゆうプラザ」で実施し参加者25名。各地区1～2点の作品とレシピを持参、学べた事は同じ作品でも作り方、遊び方材料の選び方を改めて知る事が出来た。来年も交流を実施し南大阪各地区を知って回る機会を続けたい。



大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会

平成24年度 大阪府SA連協 役員名簿

職名	職掌	氏名	SA地区 期・科
理事長	統括	松本 勉	茨木 20・福IT
副理事長	渉外	笹原 義正	吹田 高1・世代
副理事長	企画	中川 明子	いずみ 17・地福
副理事長	広報	上山 乃婦子	堺 20・世代
事務局長	総務	小川 忠夫	吹田 18・世代
事務局次長兼支援活動部長	庶務 全般	木場 昭子和	大阪 18・健福
事務局次長	書記	福武 勝彦	ひらかた 19・世代
事務局次長	会計	高林 光睦	四条畷 20・都環
顧問	—	和佐 義顕	いけだ 19・都市
会計監査	—	大川 正彦	藤井寺 18・国際
会計監査	—	松田 嘉威	はびきの 19・健増
おもちゃ部会長		藤井 貞幸	寝屋川 19・世代
歌体操部会長		藤川 安高	吹田 19・都市
ホームページ部会長		前田 正勝	大阪 20・福IT
福祉IT部会長		榎本 龍彌	いけだ 21・福IT
都市環境部会長		樋渡 照男	高槻 19・地活
広報誌部会長		大川 正彦	藤井寺 18・国際



平成24年度・役員・本部スタッフ

・地区理事大変ご苦勞様でした。
 激動、激震の1年でした・・・

- ・毎月の第一木曜 府SA連協理事会。
- ・隔月の各ブロック交流会での地区交流。
- ・隔月の各委員会での課題別検討。
- ・随時の定例各部会活動の計画実施。

※「以和為貴」=和をもって貴と為すの精神で明日のSA連協に繋げよう!

速報：SA門真の会（NPO）が「生涯現役夢追いサミット」2月23日（主催北九州市サミット実行委員会）に全国のシニア先進活動発表団体として招待されました。内容は①記念講演②全国団体パネル及び分科会で発表③シンポジウム詳しくは下記アドレスおめでとう御座います。

<http://yumesumit.jimdo.com/概要/>



大阪府SA連協定例理事会
 福島区：NPO プラザ・大阪ボランティア協会に



本部役員スタッフ新年懇親会
 福島区：志な乃亭にて

編集後記：難産の執行部人事でスタート NPO 高大同窓会の一元化問題、共同同窓誌への加入、NPO 高大 SA コースの激減、各地区 SA 努力も会員の減少傾向続く。

反面北摂シニアカレッジの SA コース発足は新しい道に続くのか・・・紙面レイアウトは出来るだけ写真を使い各部会、組織の活動をリアルに表現してみました。

期末には初めての試み SA 連協「おもちゃフェスティバル」を、企画、計画を実施し、終わり良ければ総てよしの感がしました。
 広報誌部会 M.O